

●平成 26 年度 いばらきエコプラットホームのまとめ

1. 開催概要

- 開催日時：平成 26 年 10 月 22 日(水) 15:30~17:30
- 開催場所：茨木市役所 本館 3 階 第 2 会議室
- 参加者数：9 名（内、事務局関係者 3 名）
- 参加団体数：5 団体（環境を考える市民ネットワークいばらき（大阪友の会北摂方面、茨木市消費者協会）、茨木商工会議所、大阪ガス㈱、彩都低炭素タウン推進協議会、大阪大学）
- 内容 ①前回（前年度）のふりかえり
②情報交換、取組紹介「プラットホーム参加団体の今後の予定と活動報告」
③意見交換「“やってみたい・まねしてみたい” ことから“実践”に移した（移せなかった）省エネ・省CO2につながる取り組みについて」

2. 情報交換、取組紹介

活動報告

- ・環境フェアでの超小型EVの展示、市内業者のブース→市内業者の仕事に繋がった。
- ・環境フェアで、環境教育の一環としてエコッキングを実施した。その他、環境の出張プログラムとして、水尾小学校や穂積小学校にも出前授業を実施している。→市で行っている環境教育等とも連携していけたらよいとの意見あり。
- ・環境家計簿の普及に向けて多数の講座を開催。講座の始めに環境家計簿について話し、取組みやすいよう工夫→記入が続けられるように、体重の記入欄をつけるなど健康と組み合わせてはどうか？匿名での競争を取り入れてみてはどうか？（ニックネームで登録して順位を争う）などの意見あり。
- ・海外視察の中で介護関連システムの社会的な成功例を勉強してきた。一つの仕組み（きっかけ）からそのシステムが広がっていくといった内容であり、環境や他の分野にも活かせるものである。
- ・環境フェアでエコグランプリの受賞者の取組み紹介を行い、最優秀賞であったダンボールコンポストの取組みについてはワークショップを実施した。

～ブレイク～ 牛乳パックの回収について（回収に出しているか、誰が出しているか等）

3. 省エネ・省CO2につながる取り組みについて

やってみたい・まねしてみたいことと実践状況

- ・整理整頓（断捨離）→なかなかできていない。
- ・プラスチックの透明のフタのリサイクル
→リサイクルできるのに回収している店舗があまりない。回収拠点のマップがあると良い。



意見交換の様子

- ・節水（入浴中のシャワー停止）、エアコンの設定温度 28 度
→体を洗う際にシャワーを停止してもしなくても料金に違いがなくインセンティブが少ないので実施せず。エアコンはできた。
- ・エコドライブ、自転車、ウォーキング、早寝早起き、食べ残さない、四国八十八箇所巡り
→エコドライブ、ウォーキング、食べ残さないはできた。
- ・徒歩通勤（くせを直すこともかねて）→良いことが増えた。（健康・行動が変わるなど）
- ・早寝早起き→できた日もあるがなかなか難しい。
- ・子どもの発熱をきっかけに保冷冷却材を夏の暑い夜に使用して就寝
→クーラーの使用を控えることができた。
- ・一家団らんによる節電→できていない。（家族の協力が難しい）
- ・サインペンの太さで茶碗を洗う→節水
（食洗機とどちらがエコか？→世帯人数、お皿の量による）

まとめ(山口先生からのコメント)

省エネなどの取り組みについて、実践できないのはなぜかに着目してみては？

・・・家族の協力がなく、お金がかかる、面倒など・・・

まずは理由、そして、その理由を打開する策から考えてみると良いかもしれない。

例えば、環境家計簿でも、つけるのが面倒、では面倒なのはどの部分か？そこをクリアする方法はないか？などを考えてみてはどうか。

また、何事も、見た目をきれい（目を引くもの）にすることも重要で、まずは興味をもってもらう（手にとってもらえるような）ものにすることが必要である。

4. 連絡事項(事務局)

市の動きとして、現在、環境基本計画について環境審議会やパブリックコメントによる市民の皆さんのご意見をいただきながら策定を進めている。今後、環境基本計画の推進体制としてプラットホームを開催することを検討中である。

今年度の今後のエコプラットホームについては、取り扱いたいテーマや皆さんの希望があれば開催したいと考えている。